

NEWSLETTER

No.5(2018年秋)

東京大学社会科学研究所



◆ 社研お便り

「法の解釈と「常識」」

法律学の主要な課題の一つは、法令をどのように解釈すべ きかを論じること(法解釈学)であるが、その際に、社会の構 成員の多くが共通に抱いている価値観、すなわち「常識」をど

の程度重視すべきか、という論点がある。 利益考量という法解釈方法を提唱した星 野英一は、「まず、常識で判断してみて、 妥当と思われるような解決を導くような解 釈 |を重視する(「民法解釈論序説 | 『民法 論集I』27頁)。このように、規範的な判断



に際して常識を重視する見方は、道徳哲学においても昔から 有力である。19世紀後半の代表的な功利主義者シジヴィック



(1838-1900)

は、何が社会の効用(社会の構成員の満足、 幸福)を最大にするかを個人が判断するこ とは、独善による誤りを生じがちであり、む しろ常識的な道徳(Common Sense Morality) に従うことで、社会の効用は一般に増進す ると主張した (H. Sidgwick, The Methods of

H. Sidgwick Ethics)

他方、常識に無条件の信頼を置くべきで はないという見方も有力に存在する。現代 の功利主義者ピーター・シンガーは、進化 生物学の知見を用いて、常識的な道徳が、



P. Singer (1946-)

比較現代法部門:產業関係法分野 教授 田中 亘

それが形成された(進化論的な優位性を持っていた)時期に おける社会的諸条件がもはや存在しなくなった後でもなお影 響力を持つことで、社会の効用が増進されなくなる場合があ ると論じている(P. Singer, The Expanding Circle, rev. ed.)。近年、 急速に発展した行動経済学も、人々が直感的に抱く規範的 判断に(他の直感的判断と同様に)バイアスが生じる可能性 を明らかにしている(D.カーネマン『ファスト&スロー』特に第2 部)。

社会の効用の増進が、法の(唯一でないにせよ)重要な目 的であるとすれば、法の解釈は、時には常識に抗する形で、 もっといえば、常識それ自体を変化させることを目指して行わ れるべき場合もあると考える。そのためには、常識がどのよう に形成され、その内容がどのようなものになるかについての 科学的な知見が助けになるであろう。



D. Kahneman (1934-)

◆ お知らせ

01> 2018年度第12回企業家研究フォーラム賞(著書の部)



中村 尚史が、『海をわたる機関車―近代日本の鉄道発展とグローバル化』(吉 川弘文館、2016年2月)により、2018年度第12回企業家研究フォーラム賞 (著書 の部)を受賞しました。

http://www.kigyoka-forum.jp/

*本書は、2017年 島秀雄記念優秀著作賞(単行本部門)も受賞しています。

http://www.jrc.gr.jp/award/cyosaku/cy2017

(社研NEWSLETTER No.2 参照)

02> 故 大瀧雅之教授 追悼シンポジウム

2018-09-06 去る7月2日に逝去されました大瀧雅之教授を偲び、本研究所および日本政策投資銀行 設備投資研究所の共催にて追悼シンポジウムを開催いたしました。

03> 社会科学研究所のウェブサイト: 暗号化対応完了のご報告

社会科学研究所のウェブサイトは、暗号化(SSL化)への対応を完了いたしました。

04> 社会科学研究所図書室からのお知らせ

2018-10-01 社会科学研究所図書室では、書庫内エレベータ改修工事のため、5月より利用方法を変更 していましたが、通常の利用を再開しました。(事前予約は不要になりました)

http://library.iss.u-tokyo.ac.jp/news.html#20181001

◆ 研究会・セミナー

01> 社研サマーセミナー

2018-08-02 今年は「統計データが映す私たちのくらし」と題し、 社会学、経済学、教育学といった社会科学分野で得られた 知見についてご報告しました。

「格差・不平等を実証データから考える」 石田 浩 「教育問題の解決に経済学は役立つのか?」 田中 隆一 「データからみる家族の諸相:夫婦関係を中心に」 鈴木 富美子



当日配布資料、詳細につきましては下記をご覧ください。 https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/events/180802.html



02> 社研セミナー

2018-09-11 「履歴データを分析する—子どもの生活時間から職業経歴まで—」

香川 めい(大東文化大学)

https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/research/monthly/2018/20180911.html

2018-10-09 「今は何合目だろうか: 教授任用10年評価を作成して」

玄田 有史(社会科学研究所)

https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/research/monthly/2018/20181009.html

03> Contemporary Chinese Studies

現代中国研究拠点 https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/kyoten/

2018-07-31 東京大学公共政策大学院共催セミナー

"Russian-Sino-Japanese strategic triangle" Speaker: Dr. Anna Kireeva



2018-09-07 ワークショップ

「中国のハードウェア・スタートアップ~シャオミエコシステムと PopuMusic の挑戦~」

- 1)中国のイノベーションとスタートアップ概説 伊藤 亜聖(社会科学研究所)
- 2) PopuMusic の挑戦 (PopuMusic 共同創業者、Luoshichuan 骆石川)
- 3) ハンズオン: 実際にスマートウクレレを触ってみてQ&A

2018-10-08 研究会

「中国における農業発展と農村地域の所得向上」 司会: 丸川 知雄(社会科学研究所)

報告1「中国の食生活の向上とそのインパクト ―植物油を事例として」

李 海訓(東京経済大学)

報告3「今後いかに小規模農家と現代農業の発展とを有機的に結び付けていくか」 胡 小平(中国・西南財経大学)

報告4「ポスト人ロボーナス期の中国『三農』問題」

張 馨元(横浜国立大学)

04> 産業組織研究会 https://www.iss.u-tokyo.ac.jp/~matsumur/IOW]A.html

2018-08-08 "Corporate Tax and Strategic Privatization under FDI Free Entry and Exit"

Yi Liu (College of Economics and Trade, Hunan University(湖南大学))

2018-08-24 "The Effects of Competition on Firm's Profit in a Vertical Structure"

Debasmita Basak (Economics at University of Nottingham)

2018-09-12 "Subsidy competition and imperfect labor markets (with Tadashi Morita and Kazuhiro Yamamoto)"

澤田 有希子 (東京大学経済学研究科)

2018-10-03 "Referral Hiring and Incentive Schemes (joint work with Akifumi Ishihara)"

加藤 晋(社会科学研究所)

05> 現代日本研究会(The ISS Contemporary Japan Group)

2018-07-26 "Materializing relationships—Embodying absent kinships in Japanese child welfare—"

Kathryn E. Goldfarb (University of Colorado, Boulder)

https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/cjg/lecture/2018/07/materializing-relationships-embodying-absent-kinships-in-japanese-child-welfare.html

2018-09-20 "The Art of Change by Crisis—Japan's nuclear policy after the Fukushima nuclear accident—"

Florentine Koppenborg (Technical University of Munich)

https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/cjg/lecture/2018/09/-the-art-of-change-by-crisis-japans-nuclear-policy-after-the-fukushima-nuclear-accident.html

2018-10-18 "Environmental Advocacy in East Asia—A New Policy Network Model—"

Mary Alice Haddad (Wesleyan University)

https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/cjg/lecture/2018/10/-environmental-advocacy-in-east-asia-a-new-policy-network-model.html

Contemporary Japan Group 現代日本研究会

Organizers:

Gregory W. NOBLE (University of Tokyo, ISS) ISHIDA Hiroshi

(University of Tokyo, ISS)

https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/cjg/



◆ 全所的プロジェクト

危機対応学

Social Sciences of Crisis Thinking



01> 活動報告

2018-08-21~25 危機対応学・第3回釜石調査 報告は、こちらをご覧ください。

https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/research/180904.html





RWC釜石鵜住居復興スタジアムにて入場を体験 / RWC釜石鵜住居復興スタジアム (写真は危機対応学HPより)

2018-08-25 危機対応学シンポジウム開催@釜石

「地域の危機対応学ー中間報告ー」

モデレーター: 玄田 有史(社会科学研究所)・中村 尚史(社会科学研究所)

各調查班中間報告者発表者

釜石高校調査班:田中隆一(社会科学研究所)

地域企業(製造業)班:中村 圭介(法政大学)

地域政治班: 宇野 重規(社会科学研究所) • 佐々木 雄一(首都大学東京)

地域社会班:梅崎修(法政大学)·吉野英岐(岩手県立大学)·竹村祥子(岩手大学)

地域文化班: 佐藤 由紀(玉川大学) • 大堀 研(社会科学研究所)

地区縱断調査班:石倉義博(早稲田大学)

地域防災班:佐藤慶一(専修大学)ゲスト:梅崎修(法政大学)





(写真は危機対応学HPより)

報告は、こちらをご覧ください。

https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/research/180904.html

2018-09-27 第四回World Social Science Forum@福岡

WSSFはInternational Social Science Councilの旗振りで3年に1度開催されている、世界最大規模の社会科学系国際会議です。





(中村 尚史(社会科学研究所)写真は危機対応学HPより)

報告は、こちらをご覧ください。

https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/research/181002.html

02> エッセイ掲載

2018-08 中川 淳司(社会科学研究所)

「アマチュア登山家の危機対応学」

https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/essay/post-10.html

2018-09 伊藤 亜聖(社会科学研究所)

「デジタル化と危機と社会科学」

https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/essay/post-11.html

2018-09 荒木 一男(社会科学研究所)

「「釜石鵜住居(うのすまい)復興スタジアム」に埋め込められた記憶をどう活かすのか」

https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/essay/post-12.html



「将来に向けた防災意識・行動・価値観調査」調査票

03> 研究成果 書籍

『危機対応学―明日の災害に備えるために』

東大社研・玄田 有史・有田 伸編 勁草書房 2018

https://web.iss.u-

tokyo.ac.jp/crisis/pub/books/post-1.html

勁草書房 HP

http://www.keisoshobo.co.jp/book/b373842.html

『危機対応学―明日の災害に備えるために』が2018年9月13 日に発売されました。

地震、台風、洪水、土砂災害などの危機に見舞われた皆様 に 心より お見舞い申し上げます。

(危機対応学運営委員会)

04> メディア掲載

2018-08-26 『岩手日報』掲載:「震災教訓継承 有効性を考察 危機対応学シンポ」

2018-09-01 『復興釜石新聞』掲載:「震災の記憶継承ヘシンポジウム 様々な危機対応策を考察 東京大学社会科学研究所、釜石市」

2018-09-15 『広報かまいし』掲載:まちの話題のページ(P17)に掲載:「地域の危機対応学—中間報告—」 (8/25)について

2018-10 『メーユ通信』(No.12, Oct.2018, p.3~7) 東京大学大気海洋研究所 プロジェグランメーユニュースレターに「海と希望の学校in三陸 開校!」が掲載されました。

http://teams.aori.u-tokyo.ac.jp/whats-happening/newsletter/

希望学

A Wish for Something to Come True by Action https://project.iss.u-tokyo.ac.jp/hope/

01> メディア掲載

2018-06-21 『理念と経営』(2018年7月号、52-54頁)に 玄田 有史「希望の中にこそ希望はある」 が掲載されました。

02> 刊行案内

2018-04-30 『高校生と考える希望のための教科書』(桐光学園中学校・高等学校編、216-230頁、左右社、2018年) に玄田 有史「希望をつくる」が掲載されました。

2018-10-04 『社史から学ぶ経営の課題解決』(阿部 武司・橘川 武郎編、出版文化社)に中村 尚史・橘川 武郎 (東京理科大学)が執筆しました。





◆ 刊行物案内



社会科学研究所研究シリーズ

No.65(三浦 まり・大沢 真理(編)『社会への投資 <個人>を支える<つながり>を築く』 合評会の記録)が刊行されました。2018年9月 下記よりダウンロードできます。

https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/publishments/issrs/issrs/pdf/issrs_65.pdf

所員の著書>



Susumu Cato

Rationality and Operators The Formal

Structure of Preferences

(Springer 2016)



伊藤 靖史·大杉 謙一·田中 亘· 松井 秀征

『会社法 第4版』 (有斐閣 2018年.4月)



深尾 京司・中村 尚史・中林真幸

『日本経済の歴史6 現代2』 (岩波書店 2018年5月)



Mari OSAWA

Worlds of Taxation: The Political
Economy of Taxing, Spending, and
Redistribution Since 1945
(Palgrave Macmillan 2018.8)



奥野 正寬 編 加藤 晋 他著

『ミクロ経済学演習』第2版 (東京大学出版会 2018年9月)



宇野 重規

『未来をはじめる「人と一緒にいること」の政治学』 (東京大学出版会2018年9月)

★刊行物について、詳細は下記をご覧ください。

社会科学研究所研究シリーズ: https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/publishments/issrs/

Social Science Japan Newsletter: https://newslet.iss.u-tokyo.ac.jp/

所員の著書: https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/publishments/books/2018/index.html

◆ 所員の発言

01> ウェブサイト

2018-07-19 中曽根康弘世界平和研究所、日本国際問題研究所と平和・安全保障研究所が合同で配信している 『AJISSコメンタリー』の261号(2018年7月19日配信)に、中川 淳司の記事 "The US-led Trade War: Towards a Rule-based Solution" が配信されました。

記事へのリンクは以下の通りです。

"The US-led Trade War: Towards a Rule-based Solution" PDF version

日本国際問題研究所HP: http://www2.jiia.or.jp/en_commentary/201807/19-1.html

同Facebook: https://www.facebook.com/IIIAi

◆ 社会調査・データアーカイブ研究センター(CSRDA/SSJDA)



01> 計量分析セミナー・夏

2018-08-24-28 2018年度計量分析セミナー・夏 が開催されました。

プログラム

8月24日(金)「二次分析入門!with STATA」

8月25日(土)~26日(日)「二次分析のためのR入門」

8月27日(月) 「Rで学ぶ統計的因果推論入門」

8月28日(火) 「ダイアドデータ分析入門」







*詳細は下記をご覧ください。

https://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp/seminar/quanti/2018summer/なお、次回の開催は2019年春を予定しております。

02> お知らせ

2018-08-24 リモート集計システム(Nesstar)で利用可能なデータが増えました。

ワーキングパーソン調査, 2000(SSIDA調査番号0253)

ワーキングパーソン調査, 2002(SSJDA調査番号0380)

ワーキングパーソン調査, 2004(SSJDA調査番号0410)

ワーキングパーソン調査, 2006(SSJDA調査番号0535)

ワーキングパーソン調査, 2008(SSJDA調査番号0629)

ワーキングパーソン調査, 2010(SSJDA調査番号0782)

ワーキングパーソン調査, 2012(SSIDA調査番号0870)

ワーキングパーソン調査, 2014(SSJDA調査番号1046)

https://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp/access/remote-analysis/#data

2018-09-29 『読売新聞』(夕刊)「Single Style:家事お任せ 恥じゃない」に、鈴木 富美子のコメントが 掲載されました。



03> SSJDAデータ公開情報

2018-08-21

1134「インターネットによる結婚の意思決定に関する意識調査, 2016」(内閣府経済社会総合研究所)

2018-08-31

1177「Macromill Weekly Index, 2017.4-6」(マクロミル)

1178「Macromill Weekly Index, 2017.7-9」(マクロミル)

1186「生活と防災についての社会意識調査, 2014~2015」(村瀬 洋一)

1187「戦後70年に関する意識調査, 2014」(NHK放送文化研究所世論調査部)

1191「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査, 2017」(内閣府政策統括官(経済財政運営担当))

1207「京浜工業地帯調査(従業員個人調査), 1951」(東京大学社会科学研究所)

2018-09-21

1184「介護労働実態調査, 2016」(介護労働安定センター)

2018-09-25

1138「現代核家族調査, 2008」(公益財団法人 家計経済研究所)

1139「共働き夫婦の家計と意識に関する調査, 2014」(公益財団法人 家計経済研究所)

2018-10-02

1156「時短アンケート, 2016」(日本建設産業職員労働組合協議会)

2018-10-05

1192「女性の化粧行動・意識に関する実態調査, 2011」(ポーラ文化研究所)

2018-10-16

1193「女性の化粧行動・意識に関する実態調査, 2012」(ポーラ文化研究所)

1194「女性の化粧行動・意識に関する実態調査, 2013」(ポーラ文化研究所)

社会調査・データアーカイブ研究センター: https://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp/

◆ 社研インタビュー

01> 第29回 社研卒業生の現在(いま)

張 馨元さん 横浜国立大学経済・国際社会科学研究院(准教授)

社研在籍期間:

リサーチアシスタント(2010年4月~2012年3月) 特任研究員(2012年4月~2013年9月) 専門分野:中国経済、農村経済

—While more and more works on economics are done utilizing secondary data, I continue conducting fieldwork following the research style which Prof. Suehiro described as "research should be done on foot (研究は足でやる)" (続きは本文をご覧ください。)

https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/interview/ob/zhang 2018 09.html

02> 第32回 新刊著者訪問

『統計は暴走する』(中央公論新社 2017年9月)

佐々木 彈(専門:法と制度の経済学)

――統計とは単なる数学ではなく「顔のある」「人間くさい」「社会的な」数学であり、常にその意味を考えながら読み書きすべきものだ、ということになります。(続きは本文をご覧ください!)

https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/interview/publishment/dsasaki_2018_08.html





◆ 人事情報

(短時間有期雇用職員)

| 異動内容 | 氏名 | 職名 | 所属等 |
|------------------|-------|--------|---------------------------|
| 採用(2018.08.01付け) | 入山 浩一 | 特任専門職員 | 附属社会調査・データアーカイブ 研究センター |
| 退職(2018.09.30付け) | 王 昊婷 | 学術支援職員 | 附属社会調査・データアーカイブ 研究センター |

◆ 社会科学研究所/リンク集

01> 各種最新情報: https://issnews.iss.u-tokyo.ac.jp/

02> 研究会・セミナー案内: https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/research/monthly/index.html

03> 人材公募情報: https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/recruitment/index.html

04> 刊行物一覧: https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/publishments/index.html



(2019年6月20日改訂)